

令和4年度第1回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会議事録

日 時	令和4年8月4日(木) 午後3時00分から午後3時50分まで
場 所	柏原市役所 本館4階 中会議室
出席者	<p>(柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員)</p> <p>○桐藤委員 (柏原市市民部)</p> <p>○重森委員 (関西福祉科学大学)</p> <p>○新光委員 (大阪教育大学)</p> <p>○高木委員 (市民)</p> <p>○泊委員 (柏原市労働組合協議会)</p> <p>○森口委員 (柏原市福祉こども部)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
欠席者	<p>○石村委員 (パナソニックサイクルテック株式会社)</p> <p>○市川委員 (柏原市政策推進部)</p> <p>○野田委員 (大阪中河内農業協同組合)</p> <p>○橋本委員 (株式会社りそな銀行柏原支店)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
事務局	<p>○小林 政策推進部総合政策監</p> <p>○榎内 企画調整課長</p> <p>○中嶋 企画調整課参事兼課長補佐</p> <p>○藤井 企画調整課主任</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 柏原市の人口動態と取組の効果検証について</p> <p>(2) 地方創生に向けた令和4年度の取組状況について</p> <p>(3) デジタル田園都市国家構想について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>

## 1 開 会

	<p>○委員会成立報告 委員 6 名出席により、推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定に基づいて、委員会が成立していることを報告。</p> <p>○議事進行 昨年委員会にて、委員長に市川委員、副委員長に桐藤委員を選出。本日の議事進行については、市川委員長が欠席のため、桐藤副委員長にお願いします。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 議 題

桐藤副委員長	開会挨拶
事務局	<p><b>【資料確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次 第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・資 料 1 市の現況について（人口の推移等）</li> <li>・資 料 2 重要業績評価指標（KPI）実績一覧</li> <li>・資 料 3 企業版ふるさと納税</li> <li>・資 料 4 デジタル田園都市国家構想基本方針について</li> <li>・参考資料 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について</li> </ul> <p><b>【委員会の運営等】</b> 委員会を公開とし、推進委員会議事録を作成し、公表する。 委員会開催時には傍聴者の入室を認める。</p>
桐藤副委員長	<p><b>【議事進行】</b> (1) 柏原市の人口動態と取組の効果検証について</p>
事務局：藤井	<p>(事務局 柏原市の人口動態について説明) 資料 1 市の現況について（人口の推移等）</p>
事務局：藤井	<p>(事務局 取組の効果検証について基本目標ごとに説明) 資料 2 重要業績評価指標（KPI）実績一覧</p>
桐藤副委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問等を問う。
泊委員	<p>《基本目標 1 子育てナンバーワンのまち かしわら》の学力・体力について、全国平均に対して検証しているが、大阪府内での柏原市はどの程度なのか把握はしているのか。人口を増やすためには、子どもを増やさないといけないと考えるが、私自身もそうであるが、学力面・体力面の良いところに住ませたいと思われる親御さんは多いと思う。奈良でも良いが、近隣との比較も必要と思われる。</p>

事務局：中嶋	今、大阪府内や近隣との比較の資料が手元にない。また、担当課より資料を集め後日各委員へ送付させていただく。
事務局：小林	学力では、かしわらっ子はぐくみテストにおいて、小学校ではある程度数値は上昇しているが、中学校での数値が伸び悩んでいるデータが出ている。中学校の学力について問題意識が必要だと考える。
桐藤副委員長	資料については、企画調整課より後日各委員へ送付する。 他に意見又は質問等はないか。
重森委員	この学力については、柏原市在住の子どもが対象なのか。それとも、柏原市立小学校・中学校へ通学している子どもが対象なのか。比較は公立であるのか。
事務局：中嶋	柏原市立小学校・中学校へ通学している子どもが対象であり、比較は公立である。
重森委員	もう一点、《基本目標4 暮らしやすいまち かしわら》の健康づくりの推進について。コロナにより外出を控えていることなどから、全国的に運動不足の傾向である。このあたりについて、要介護状態や医療費に対して影響があったのか、今現状を把握されているか。
事務局：中嶋	今手元に現状を把握するような資料がない。そのあたりについても、担当課より資料を集める。
重森委員	年度比較をすれば、これからの健康づくりを推進する重要性へとつながると思う。
桐藤副委員長	(2) 地方創生に向けた令和4年度の取組状況について
事務局：中嶋	(事務局 説明) 資料3 企業版ふるさと納税
桐藤副委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問等を問う。
重森委員	説明にあった産学官連携の大阪教育大学との連携部分であるが、今回の授業というのは大学の授業か、それとも大学院の授業か。大学であれば何年生なのか。
事務局：中嶋	大学であり、3年生の授業である。

重森委員	この事業の健康ウォーキング手帳のリニューアルにあたって、大学院であれば、配布後の活用状況の効果検証まで期待できるのではと思った。
高木委員	健康ウォーキング手帳のリニューアルについて、大学生が作成したイラストを取り入れることは、市民にとっては身近に感じやすくとてもいいことである。その一方で、市の「企業版ふるさと納税」のウェブページのイメージが堅い印象であり、もう少し幅広い方に見ていただきやすい工夫が必要になるのでは。
事務局：中嶋	ウェブページは企業向けになり、未完成である。窓口を広く設け、多く問合せいただくことを目標としているので、目に留まりやすい工夫は必ず必要であり、今後の課題とする。
泊委員	企業向けのウェブページについて、企業が見ないことには始まらないのでは。
事務局：中嶋	企業版ふるさと納税については、市外に本社がある企業が対象となるので、ウェブページだけでなく、他にもPRの手法は必要であると考ええる。他市などの先行事例も研究する。
新光委員	今回の産学官連携に参加された第一生命は、自ら手を上げられたのか、人伝いなのか。我々、大阪教育大学としても、産学官連携を進める中で、ウェブページに掲載しても、なかなか企業の目に留まらず、参加していただくことが難しい状況である。チームを組み、大阪市内の企業を中心に声をかけをしながら営業活動をしているが、今回の第一生命は、どのように申込をされる運びとなったのか。
事務局：中嶋	ここ最近、企業側より包括連携協定締結に向けたお話をいただくことが多く、今回の第一生命に関しても、先に包括連携協定を結んでいた。その後、第一生命より地域貢献に関して積極的にお話いただき、何度か対話を重ね、企画調整課より担当課へ繋ぎ、この産官学の三者が繋がる事業を構築できた。我々も営業活動1回で決まったということではない。今後も新たな企業とのきっかけ作りは営業・PRが必要と考えられるが、その後の担当課への繋ぎなどのフォローも大事だと考えている。
事務局：小林	補足になるが、最近、SDGsなどを意識され、資金を通じて社会貢献していきたいと考えられている企業が増えている。ただ、既に構築された事業の中から選ぶというところで、できあがった事業に魅力を感じないことや、どの市に寄附すればいいか悩んでおられる企業があると、企

	<p>業版ふるさと納税の管轄である総務省より情報を得ている。柏原市の今後の戦略としては、先ほど述べた企業を対象に、総務省のコーディネーターを通して、一緒に事業を作り上げていく企業を募集することを考えている。</p>
<p>新光委員</p>	<p>我々の大学も十数社と包括連携協定を結んでいる。だが、そこから具体的に事業へ進めていこうとするも、お互い手探りの状態となり資金を動かすまでなかなか難しいところである。今回は、第一生命、大阪教育大学との連携であるが、発展的にも大阪教育大学を活用いただけたらと思うので今後もよろしくお願ひしたい。</p>
<p>桐藤副委員長</p>	<p>(3) デジタル田園都市国家構想について</p>
<p>事務局：中嶋</p>	<p>(事務局 説明) 資料4 デジタル田園都市国家構想基本方針について</p>
<p>桐藤副委員長</p>	<p>今の事務局の説明、またそれ以外に対して、意見又は質問等を問う。  (意見、質問なし)</p>
<p>桐藤副委員長</p>	<p>事務局より連絡事項をお願いする。</p>
<p>事務局：藤井</p>	<p>今後の委員会について、議題3で説明したとおり、国は年内を目途に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」(仮称)の策定を予定している。国の動向、新たな戦略の内容を確認の上で、必要に応じて本推進委員会の開催を検討する。その際は事務局よりご案内する。</p>
<p>桐藤副委員長</p>	<p>それでは、以上をもって第1回推進委員会を閉会させていただく。</p>